

新型コロナウイルス感染症の“いま”についての10の知識

新型コロナウイルス感染症の患者数・病原性

1. 日本では、どれくらいの人新型コロナウイルス感染症と診断されていますか。
2. 新型コロナウイルス感染症と診断された人のうち、重症化する人や死亡する人はどれくらいですか。
3. 新型コロナウイルス感染症と診断された人のうち、重症化しやすいのはどんな人ですか。
4. 海外と比べて、日本で新型コロナウイルス感染症と診断された人の数は多いのですか。

新型コロナウイルス感染症の感染性

5. 新型コロナウイルスに感染した人が、他の人に感染させる可能性がある期間はいつまでですか。
6. 新型コロナウイルス感染症と診断された人のうち、どれくらいの人他の人に感染させていますか。
7. 新型コロナウイルス感染症を拡げないためには、どのような場面に注意する必要がありますか。

新型コロナウイルス感染症に対する検査・治療

8. 新型コロナウイルス感染症を診断するための検査にはどのようなものがありますか。
9. 新型コロナウイルス感染症はどのようにして治療するのですか。
10. 新型コロナウイルスのワクチンがありますか。いつから打てるようになりますか。

Q 日本では、これまでにどれくらいの方が新型コロナウイルス感染症と診断されていますか。

A 日本では、これまでに約**209,980人**が新型コロナウイルス感染症と診断されており、これは全人口の約**0.2%**に相当します。国内の発生状況などに関する最新の情報には、以下のリンクをご参照ください：

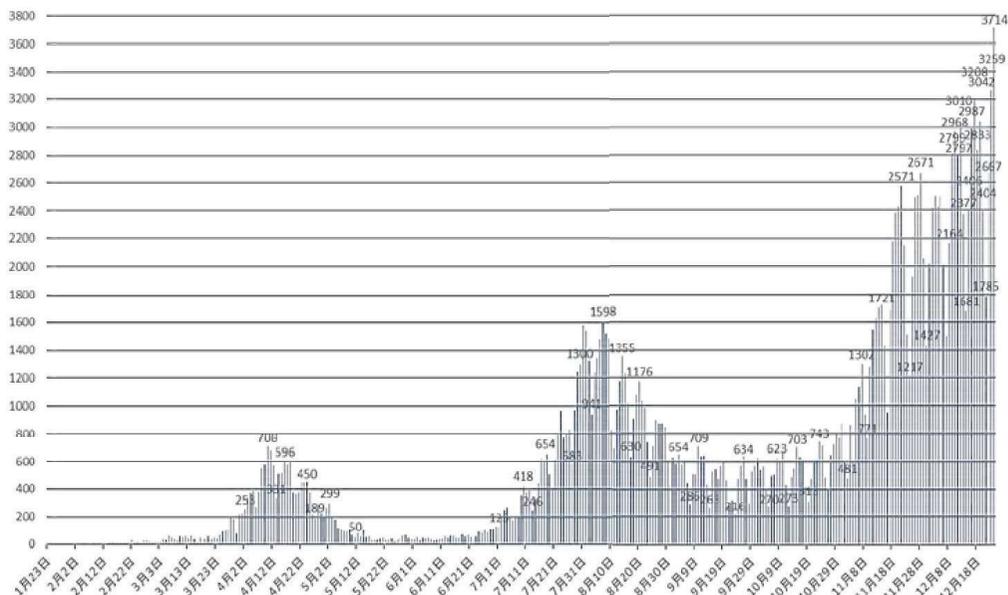
<https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kokunainohasseijoukyou.html>

- ※ 感染していても症状が現れず医療機関を受診しない人などがいるため、必ずしも感染した人すべてを表す人数ではありません。
- ※ 人数は2020年12月25日0時時点

新型コロナウイルス感染症の国内発生動向

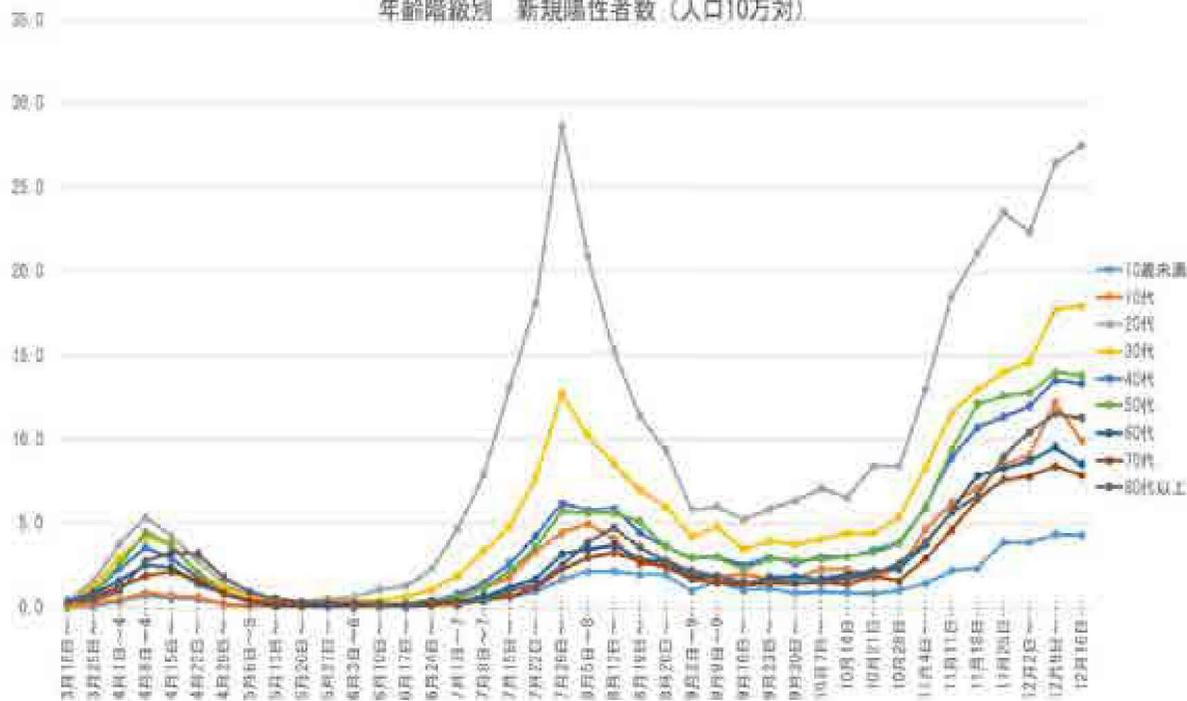
報告日別新規陽性者数

令和2年12月24日24時時点



※1 都道府県から数日分まとめて図に報告された場合には、本来の報告日別に過去に遡って計上している。なお、重複事例の有無等の数値の調査を行っている。
※2 5月10日まで報告がなかった東京都の症例については、確定日に報告があったものとして追加した。

年齢階級別 新規陽性者数（人口10万対）



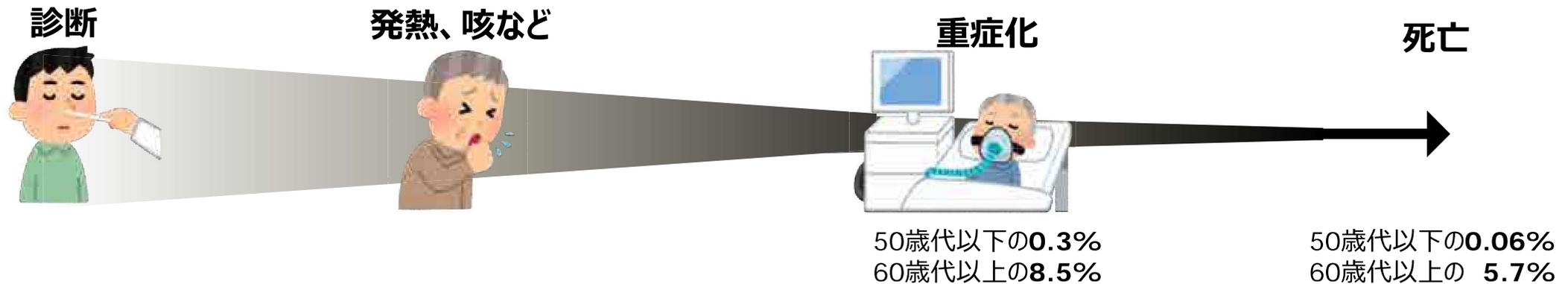
Q 新型コロナウイルス感染症と診断された人のうち、重症化する人や死亡する人はどれくらいですか。

A 新型コロナウイルス感染症と診断された人のうち、重症化する人の割合や死亡する人の割合は**年齢によって異なり、高齢者は高く、若者は低い**傾向にあります。

重症化する割合や死亡する割合は**以前と比べて低下**しており、6月以降に診断された人の中では、

- ・重症化する人の割合は 約1.6%（50歳代以下で0.3%、60歳代以上で8.5%）、
- ・死亡する人の割合は 約1.0%（50歳代以下で0.06%、60歳代以上で5.7%）となっています。

※「重症化する人の割合」は、新型コロナウイルス感染症と診断された症例（無症状を含む）のうち、集中治療室での治療や人工呼吸器等による治療を行った症例または死亡した症例の割合。



診断された人のうち、重症化する割合 (%)

年代 (歳) / 診断月	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	90-	計
6-8月	0.09	0.00	0.03	0.09	0.54	1.47	3.85	8.40	14.50	16.64	1.62
1-4月	0.69	0.90	0.80	1.52	3.43	6.40	15.25	26.20	34.72	36.24	9.80

診断された人のうち、死亡する割合 (%)

年代 (歳) / 診断月	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	90-	計
6-8月	0.00	0.00	0.01	0.01	0.10	0.29	1.24	4.65	12.00	16.09	0.96
1-4月	0.00	0.00	0.00	0.36	0.61	1.18	5.49	17.05	30.72	34.50	5.62

Q 新型コロナウイルス感染症と診断された人のうち、重症化しやすいのはどんな人ですか。

A 新型コロナウイルス感染症と診断された人のうち**重症化しやすいのは、高齢者と基礎疾患のある方**です。
重症化のリスクとなる基礎疾患には、**慢性閉塞性肺疾患（COPD）、慢性腎臓病、糖尿病、高血圧、心血管疾患、肥満**があります。
また、妊婦や喫煙歴なども、重症化しやすいかは明らかでないものの、注意が必要とされています。

30歳代と比較した場合の各年代の重症化率

年代	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上
重症化率	0.5倍	0.2倍	0.3倍	1倍	4倍	10倍	25倍	47倍	71倍	78倍

※「重症化率」は、新型コロナウイルス感染症と診断された症例（無症状を含む）のうち、集中治療室での治療や人工呼吸器等による治療を行った症例または死亡した症例の割合。

重症化リスクとなる基礎疾患

慢性腎臓病

慢性閉塞性肺疾患
(COPD)

糖尿病

高血圧

心血管疾患

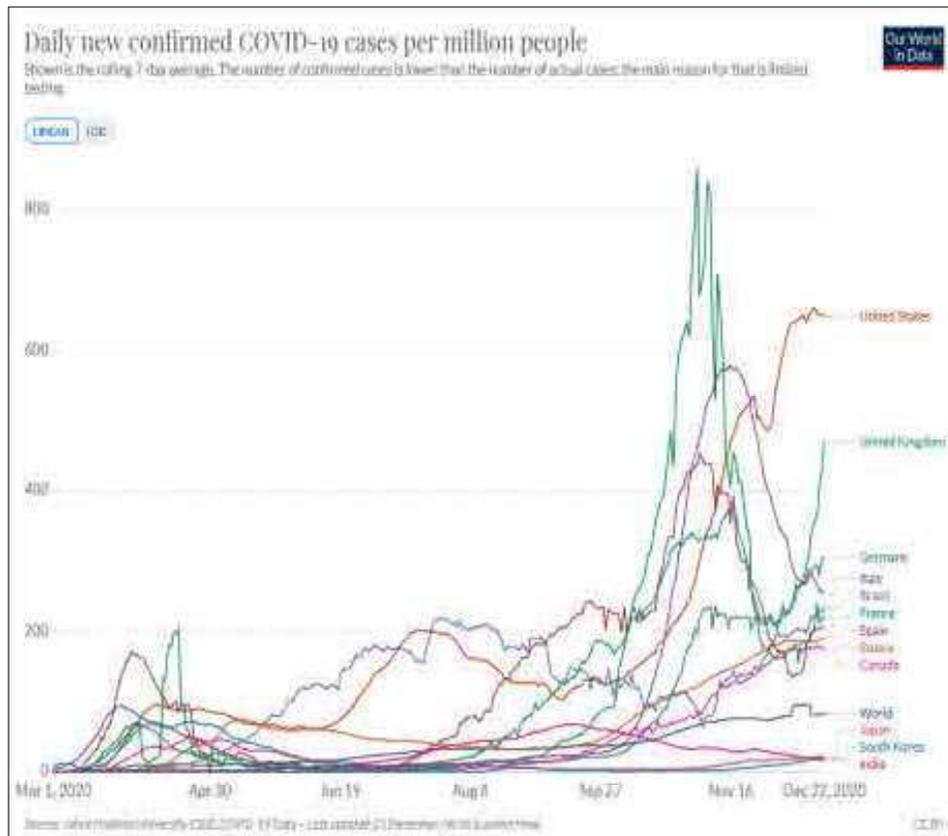
肥満（BMI 30以上）

※妊婦、喫煙歴なども重症化しやすいかは明らかでないが注意が必要。

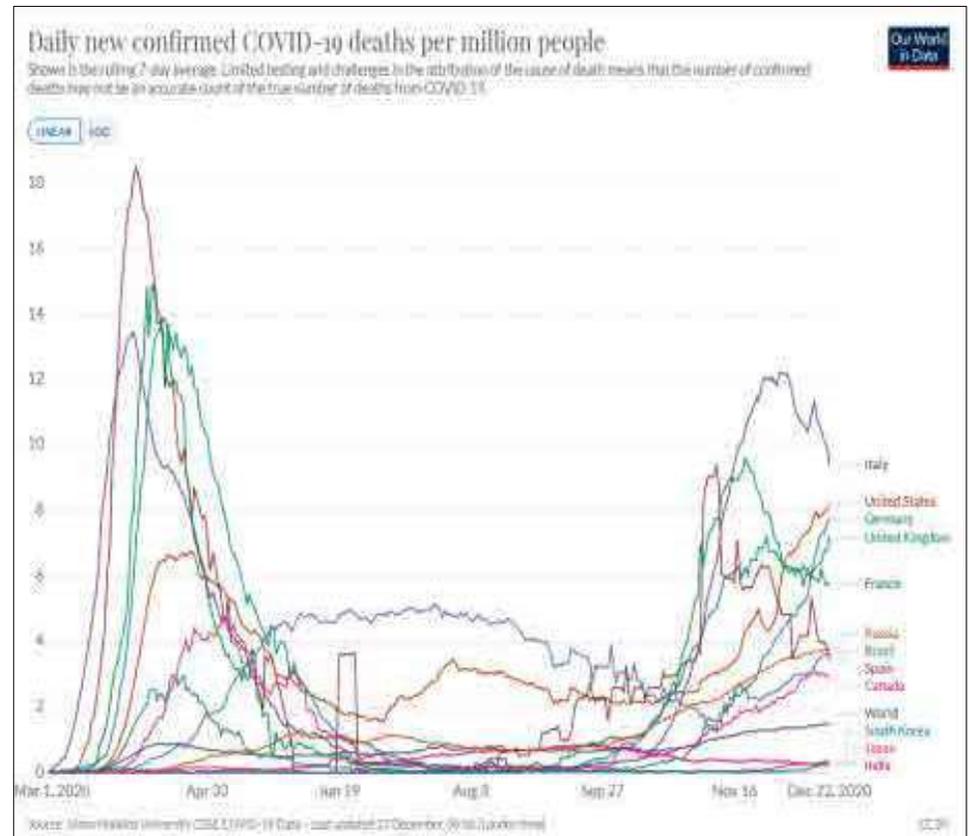
Q 海外と比べて、日本で新型コロナウイルス感染症と診断されている人の数は多いのですか。

A 日本の人口当たりの感染者数、死者数は、全世界の平均や主要国と比べて低い水準で推移しています。

人口100万人当たりの新規感染者数
(7日間移動平均)



人口100万人当たりの新規死亡者数
(7日間移動平均)



出典：Our World in Data（2020年12月24日に利用）

Q 新型コロナウイルスに感染した人が、他の人に感染させてしまう可能性がある期間はいつまでですか。

A 新型コロナウイルスに感染した人が他の人に感染させてしまう可能性がある期間は、**発症の2日前から発症後7～10日間程度**とされています。*

また、この期間のうち、発症の直前・直後で特にウイルス排出量が高くなると考えられています。

このため、新型コロナウイルス感染症と診断された人は、**症状がなくとも、不要・不急の外出を控えるなど感染防止に努める必要**があります。

※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き・第4.1版より

Q 新型コロナウイルス感染症と診断された人のうち、どれくらいの人が他の人に感染させていますか。

A 新型コロナウイルス感染症と診断された人のうち、**他の人に感染させているのは2割以下で、多くの人は他の人に感染させていない**と考えられています。

このため、感染防護なしに3密（密閉・密集・密接）の環境で多くの人と接するなどによって**1人の感染者が何人もの人に感染させてしまうことがなければ、新型コロナウイルス感染症の流行を抑えることができます。**

体調が悪いときは**不要・不急の外出を控えること**や、人と接するときには**マスクを着用すること**など、**新型コロナウイルスに感染していた場合に多くの人に感染させることのないよう行動することが大切です。**

※ マスクの着用により、感染者と接する人のウイルス吸入量が減少することがわかっています。（布マスクを感染者が着用した場合に60-80%減少し、感染者と接する人が着用した場合に20-40%減少。）

Ueki, H., Furusawa, Y., Iwatsuki-Horimoto, K., Imai, M., Kabata, H., Nishimura, H., & Kawaoka, Y. (2020). Effectiveness of Face Masks in Preventing Airborne Transmission of SARS-CoV-2. *mSphere*, 5(5), e00637-20.

Q 新型コロナウイルス感染症を拡げないためには、どのような場面に注意する必要がありますか。

A 新型コロナウイルス感染症は、主に飛沫感染や接触感染によって感染するため、3密（密閉・密集・密接）の環境で感染リスクが高まります。

このほか、飲酒を伴う懇親会等、大人数や長時間におよぶ飲食、マスクなしでの会話、狭い空間での共同生活、居場所の切り替わりといった場面でも感染が起きやすく、注意が必要です。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



Q 新型コロナウイルス感染症を診断するための検査にはどのようなものがありますか。

A 新型コロナウイルス感染症を診断するための検査には、PCR検査、抗原定量検査、抗原定性検査等があり、いずれも被検者の体内にウイルスが存在し、ウイルスに感染しているかを調べるための検査です。

新たな検査手法の開発により、検査の種類や症状に応じて、鼻咽頭ぬぐい液だけでなく、唾液や鼻腔ぬぐい液を使うことも可能になっています。

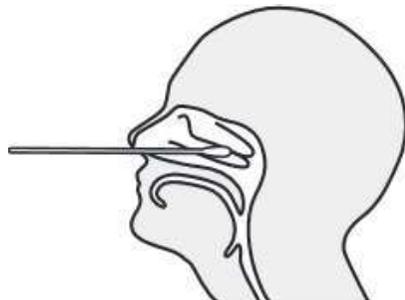
なお、抗体検査は、過去に新型コロナウイルス感染症にかかったことがあるかを調べるものであるため、検査を受ける時点で感染しているかを調べる目的に使うことはできません。

検査の対象者		PCR検査 (LAMP法含む)			抗原検査 (定量)			抗原検査 (定性)		
		鼻咽頭	鼻腔	唾液	鼻咽頭	鼻腔	唾液	鼻咽頭	鼻腔	唾液
有症状者	発症から9日目以内	○	○	○	○	○	○	○※1	○※1	×
	発症から10日目以降	○	○	×	○	○	×	△※2	△※2	×
無症状者		○	×	○	○	×	○	×	×	×

※1 発症2日目から9日目以内に使用 ※2 陰性の場合は鼻咽頭PCR検査等を実施

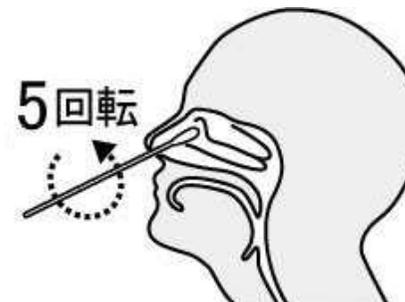
検体採取の例

(抗原定性検査、鼻咽頭ぬぐい液と鼻腔ぬぐい液の場合)



鼻から綿棒を挿入し、
鼻咽頭を数回こする
(医療従事者が採取)

鼻咽頭ぬぐい液採取



鼻から綿棒を2cm程度挿入し、
5回転させ、5秒程度静置
(自己採取も可)

鼻腔ぬぐい液採取

※図はデンカ株式会社より提供

Q 新型コロナウイルス感染症はどのようにして治療するのですか。

A 軽症の場合は経過観察のみで自然に軽快することが多く、必要な場合に解熱薬などの対症療法を行います。

呼吸不全を伴う場合には、酸素投与やステロイド薬（炎症を抑える薬）・抗ウイルス薬※¹の投与を行い、改善しない場合には人工呼吸器等による集中治療を行うことがあります※²。

こうした治療法の確立もあり、新型コロナウイルス感染症で入院した方が死亡する割合は低くなっています。

発熱や咳などの症状が出たら、まずは身近な医療機関に相談してください。

※¹ 新型コロナウイルス感染症の治療として承認を受けている抗ウイルス薬として、国内ではレムデシビルがあります。（12月25日時点）

※² 集中治療を必要とする方または死亡する方の割合は、約1.6%（50歳代以下で0.3%、60代以上で8.5%）

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き・第4.1版より抜粋・一部改変

入院した症例に対する薬物治療の状況と死亡する割合（COVID-19 レジストリ研究解析結果※⁴）

○ 6月以降に入院した症例では、6月以前に入院した症例と比べて以下の傾向にある。

- ・ 特に入院時に重症であった症例において、新型コロナウイルス感染症に適応のあるレムデシビルやステロイド薬の投与割合が増加。
- ・ 入院時軽症/中等症例・重症例ともに、いずれの年代においても入院後に死亡する割合が低下。

入院時軽症/中等症例

		6月5日以前 に入院した症例	6月6日以降 に入院した症例
薬物治療の 状況	レムデシビル※ ⁶	0.2%	7.0%
	ステロイド薬 (シクレソニドを除く)	4.3%	6.2%
入院後に 死亡する割合	0-29歳	0.0%	0.0%
	30-49歳	0.2%	0.0%
	50-69歳	1.1%	0.0%
	70歳-	10.6%	5.8%
	全年齢	2.6%	0.5%

入院時重症例※⁵

		6月5日以前 に入院した症例	6月6日以降 に入院した症例
薬物治療の 状況	レムデシビル	0.9%	21.0%
	ステロイド薬 (シクレソニドを除く)	23.1%	39.7%
入院後に 死亡する割合	0-29歳	5.6%	0.0%
	30-49歳	2.2%	0.0%
	50-69歳	10.9%	1.4%
	70歳-	31.2%	20.8%
	全年齢	19.4%	10.1%

※⁴ 厚生労働科学研究「COVID-19に関するレジストリ研究」（研究代表者：大曲貴夫）において、9月4日までにレジストリに登録のあった入院症例を解析。

※⁵ 入院時に酸素投与、人工呼吸器管理、SpO₂ 94%以下、呼吸数24回/分以上 のいずれかに該当する場合に入院時重症と分類。

※⁶ レムデシビルについては、全症例に対する割合ではなく、新型コロナウイルス感染症の治療目的で薬物投与を行った症例の中の割合。

Q 新型コロナウイルスのワクチンがありますか。いつから打てるようになりますか。

○**新型コロナウイルス感染症に対するワクチンの開発状況について**

A 国内・海外で多数の研究開発が精力的に行われており、一部の国においては、緊急的な使用等が認められ、接種が開始されています。

○**接種の時期について**

A 日本国内でも承認申請が行われたワクチンがあり、国内外の臨床試験結果等を踏まえ、承認審査が行われます。審査が終了し承認された場合に、ワクチン接種を希望される方々が速やかに受けて頂けるように、準備に取り組んでいます。

○**ワクチンの有効性と安全性について**

A 一般的に、ワクチンには感染症の発症や重症化を予防する効果があります。

ファイザー社、モデルナ社、アストラゼネカ社は、第3相試験で、開発中のワクチンを投与した人の方が、投与していない人よりも、新型コロナウイルス感染症に発症した人が少なかったとの中間結果が得られたと発表しています。

一般的にワクチン接種には、副反応による健康被害が極めて稀ではあるものの、不可避免的に発生します。新型コロナウイルス感染症のワクチンの副反応については、臨床試験等で確認されているところです。

日本への供給を計画している海外のワクチン※では、現在のところ、重大な安全性の懸念は認められなかったとされています。一方で、ワクチン接種後に、ワクチン接種と因果関係がないものも含めて、接種部位の痛みや、頭痛・倦怠感・筋肉痛等の有害事象がみられたことが報告されています。

※ファイザー社、アストラゼネカ社、モデルナ社、ノババックス社が開発中のワクチン

これまでのイベント開催制限の変遷（イベント開催制限の段階的緩和）

時期		収容率	人数上限	備考
5月25日～ 6月18日	屋内	50%以内	100人	(入退場管理できない催物) ・ 6/1以降、地域の行事 (盆踊り等)は開催可 ・ 全国的・広域的な祭り・花火大会等は慎重に判断
	屋外	十分な間隔 *できれば2m	200人	
6月19日～ 7月9日	屋内	50%以内	1000人	
	屋外	十分な間隔 *できれば2m	1000人	
7月10日～ 9月18日	屋内	50%以内	5000人	
	屋外	十分な間隔 *できれば2m	5000人	
9月19日～ 当面11月末	大声なし	100%以内（収容人数あり） 又は 密にならない程度の間隔（収容人数なし） ・クラシック音楽コンサート、演劇等、舞踊、伝統芸能、 芸能・演芸、公演・式典、展示会 等	収容人数10,000人超 ⇒収容人数の50%	上記整理を維持
	大声あり	50%以内（収容人数あり） 又は 十分な人と人との間隔（1m）（収容人数なし） ・ロック、ポップコンサート、スポーツイベント、公営競技、 公演、ライブハウス・ナイトクラブでのイベント (注) 食事を伴う催物は「大声あり」と同じ取扱い	収容人数10,000人以下 ⇒5,000人	

時期		収容率	人数上限	備考
感染状況を見つつ、 来年2月末まで 維持	大声なし	現状維持 (※) 飲食を伴うが発声のない催物（映画館）は大声なしと取り扱う。	現状維持	上記整理を原則維持 ・ 入退場管理等ができる 花火大会、野外フェス 等は開催可能と明確化
	大声あり	現状維持		

(注) 収容率と人数上限でどちらか小さい方を限度（両方の条件を満たす必要）。

(1) 感染の状況 (疫学的状況)

(2) ① 医療提供体制 (療養状況)

参考資料7

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
	人口	直近1週間 累積陽性者数	対人口10万人 B/(A/100)	その前1週間 累積陽性者数	直近1週間と その前1週間の比 (B/D)	感染経路不明 な者の割合 (アンプル割合)	入院患者・ 入院確定数	うち 重症者数	入院患者・ 入院確定数	うち 重症者数	入院患者・ 入院確定数	うち 重症者数
時点	2019.10	-1/4(1W)	-1/4(1W)	-12/28(1W)		-12/25(1W)	12/29	12/29	12/22	12/22	12/29	12/22
単位	千人	人		人		人	人	人	人	人	人	人
北海道	5,250	723	13.77	748	0.97	28%	817	22	926	31	227	256
青森県	1,246	78	6.26	47	1.66	29%	34	2	18	2	7	5
岩手県	1,227	15	1.22	43	0.35	12%	56	3	85	3	12	16
宮城県	2,306	171	7.42	311	0.55	46%	91	3	100	6	145	91
秋田県	966	23	2.38	31	0.74	17%	18	0	4	0	18	1
山形県	1,078	33	3.06	45	0.73	24%	78	6	81	6	0	8
福島県	1,846	112	6.07	142	0.79	21%	156	7	163	5	55	8
茨城県	2,860	254	8.88	189	1.34	38%	119	7	118	10	85	50
栃木県	1,934	465	24.04	227	2.05	51%	158	9	139	12	38	32
群馬県	1,942	256	13.18	243	1.05	38%	185	10	207	10	103	107
埼玉県	7,350	1,756	23.89	1635	1.07	39%	782	54	659	32	269	229
千葉県	6,259	1,488	23.77	1224	1.22	52%	485	16	384	18	250	222
東京都	13,921	6,434	46.22	5221	1.23	62%	2,457	379	2,148	343	1,107	983
神奈川県	9,198	3,044	33.09	2812	1.08	57%	550	59	537	57	512	408
新潟県	2,223	67	3.01	62	1.08	15%	75	0	57	0	18	7
富山県	1,044	31	2.97	45	0.69	18%	29	2	28	1	10	2
石川県	1,138	79	6.94	73	1.08	32%	101	7	82	0	4	4
福井県	768	12	1.56	11	1.09	0%	17	1	12	2	0	0
山梨県	811	68	8.38	49	1.39	36%	56	3	41	2	5	3
長野県	2,049	131	6.39	79	1.66	24%	91	3	132	5	20	9
岐阜県	1,987	426	21.44	320	1.33	37%	305	11	268	8	83	40
静岡県	3,644	241	6.61	198	1.22	27%	180	9	177	8	46	44
愛知県	7,552	1,456	19.28	1567	0.93	43%	593	39	518	39	223	224
三重県	1,781	102	5.73	86	1.19	22%	145	4	126	4	1	9
滋賀県	1,414	196	13.86	157	1.25	28%	144	7	60	3	54	38
京都府	2,583	640	24.78	685	0.93	42%	265	28	236	27	66	81
大阪府	8,809	1,981	22.49	1860	1.07	52%	1,040	259	1,031	256	654	653
兵庫県	5,466	1,022	18.70	1191	0.86	49%	509	44	468	41	306	220
奈良県	1,330	216	16.24	223	0.97	45%	248	14	212	11	92	67
和歌山県	925	63	6.81	16	3.94	35%	27	2	34	1	0	0
鳥取県	556	28	5.04	31	0.90	17%	43	0	9	0	0	0
島根県	674	10	1.48	24	0.42	27%	32	2	22	1	0	0
岡山県	1,890	188	9.95	174	1.08	20%	133	8	156	8	52	68
広島県	2,804	527	18.79	682	0.77	44%	305	19	258	16	185	102
山口県	1,358	72	5.30	69	1.04	35%	96	3	55	3	20	2
徳島県	728	6	0.82	3	2.00	0%	5	0	6	0	0	0
香川県	956	27	2.82	79	0.34	12%	37	0	21	0	24	5
愛媛県	1,339	62	4.63	56	1.11	33%	41	3	26	4	24	3
高知県	698	55	7.88	116	0.47	31%	86	9	119	4	35	20
福岡県	5,104	1,045	20.47	975	1.07	48%	351	16	237	12	479	465
佐賀県	815	50	6.13	39	1.28	26%	21	0	21	0	28	20
長崎県	1,327	173	13.04	165	1.05	34%	137	5	63	2	73	61
熊本県	1,748	243	13.90	259	0.94	17%	179	7	156	4	41	31
大分県	1,135	91	8.02	63	1.44	34%	61	3	55	4	28	23
宮崎県	1,073	152	14.17	55	2.76	10%	28	0	30	1	18	29
鹿児島県	1,602	87	5.43	104	0.84	34%	66	2	43	0	49	21
沖縄県	1,453	268	18.44	234	1.15	46%	153	20	142	15	96	71
全国	126,167	24,667	19.55	22668	1.09	48%	11,585	1,107	10,470	1,017	5,562	4,738

※：人口推計 第4表 都道府県、男女別人口及び人口性比－総人口、日本人人口（2019年10月1日現在）

※：累積陽性者数は、感染症法に基づく陽性者数の累積（各都道府県の発表日ベース）を記載。自治体に確認を得ていない「推定値」であることを留意。

※：入院患者・入院確定数、重症者数及び宿泊療養者数（G列～L列）は、厚生労働省「新型コロナウイルス感染症患者の療養状況等及び入院患者受入病床数等に関する調査」による。同調査では、記載日の翌日 00:00時点としてとらえている。

※：入院確定数は、一週日中に入院すること及び入院先が確定している者の数。

※：重症者数は、集中治療室（ICU）等での管理、人工呼吸器管理又は体外式心臓補助（ECMO）による管理が必要な患者数。

※：各数値は、資料掲載時点において把握している最新の値としている。掲載時に既に数値が更新されることにより、前週の数値が前週公表の数値と一致しない場合がある。

※：東京都、滋賀県、京都府、福岡県及び沖縄県の重症者数については、これまで都府県独自の基準に則って報告された数値を掲載していたが、

8/21公表分からは、国の基準に則り、集中治療室（ICU）等での管理が必要な患者も含めた数値が報告されている。

※：2020年12月18日以後に新たに発生が認められている岡山県のアンプル割合については、

本業日から水曜日まででの新規感染者について登週に報告されたものであり、他の都道府県と対象の期間が異なる点に留意。

(2) ② 医療提供体制 (病床確保等)

(3) 検査体制の構築

	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W
	新型コロナ対策協議会の設置状況	患者受入れ調整本部の設置状況	周産期医療の協議会の開催状況	受入確保病床数	受入確保想定病床数	宿泊施設確保数	最近1週間のPCR検査件数	2週間前のPCR検査件数	変化率(S/T)	(参考)それぞれの週の陽性者数	
時点	5/1	5/1	5/19	12/29	12/29	12/29	~12/27(1W)	~12/20(1W)		-12/27(1W)	-12/20(1W)
単位				床	床	室	件	件		人	人
北海道	済	済	済	1,811	1,811	1,835	18,545	16,224	1.14	764	862
青森県	済	済	済	210	225	290	1,067	1,284	0.83	38	17
岩手県	済	済	済	374	374	381	1,769	2,204	0.80	37	33
宮城県	済	済	済	345	450	300	4,616	4,671	0.99	289	248
秋田県	済	済	済	222	235	58	787	236	3.33	30	1
山形県	済	済	予定	216	216	108	1,832	2,440	0.75	52	61
福島県	済	済	済	469	469	160	6,539	5,303	1.23	154	121
茨城県	済	済	済	545	545	324	7,245	6,702	1.08	174	146
栃木県	済	済	済	317	317	284	3,519	3,301	1.07	213	152
群馬県	済	済	済	335	335	1,300	4,260	4,690	0.91	239	281
埼玉県	済	済	済	1,229	1,400	1,359	23,992	21,478	1.12	1,568	1,235
千葉県	済	済	済	1,145	1,200	815	16,261	13,495	1.20	1,167	870
東京都	済	済	済	4,000	4,000	2,360	75,882	65,182	1.16	5,132	4,221
神奈川県	済	済	済	1,939	1,939	1,201	28,141	26,911	1.05	2,666	1,801
新潟県	済	済	済	456	456	176	1,711	1,609	1.06	65	40
富山県	済	済	済	500	500	430	1,748	1,412	1.24	50	19
石川県	済	済	済	258	258	340	2,302	1,959	1.18	74	50
福井県	済	済	済	215	215	75	1,186	687	1.73	9	5
山梨県	済	済	済	285	285	139	1,379	1,185	1.16	37	37
長野県	済	済	済	350	350	250	3,069	2,771	1.11	80	89
岐阜県	済	済	済	625	625	466	3,991	3,743	1.07	292	233
静岡県	済	済	済	442	450	592	5,880	6,016	0.98	199	188
愛知県	済	済	済	934	934	1,300	17,075	14,305	1.19	1,537	1,425
三重県	済	済	済	349	349	100	803	842	0.95	81	89
滋賀県	済	済	済	274	280	260	1,978	1,190	1.66	163	61
京都府	済	済	済	720	750	338	9,103	6,796	1.34	673	515
大阪府	済	済	済	1,576	1,615	2,019	28,136	26,617	1.06	1,890	2,108
兵庫県	済	済	予定	756	756	988	10,066	9,402	1.07	1,127	865
奈良県	済	済	済	370	500	250	4,134	2,780	1.49	224	158
和歌山県	済	済	済	400	400	137	1,157	1,249	0.93	18	24
鳥取県	済	済	済	313	313	340	657	479	1.37	26	2
島根県	済	済	済	253	253	98	275	579	0.47	21	15
岡山県	済	済	済	401	401	207	5,553	6,958	0.80	184	304
広島県	済	済	済	553	553	934	15,428	14,262	1.08	712	682
山口県	済	済	済	423	423	834	1,361	1,220	1.12	60	29
徳島県	済	済	済	200	200	180	564	281	2.01	4	4
香川県	済	済	済	199	199	101	2,162	945	2.29	74	8
愛媛県	済	済	済	229	229	192	504	275	1.83	40	16
高知県	済	済	済	200	200	361	1,304	1,736	0.75	125	144
福岡県	済	済	済	576	760	1,057	14,771	14,746	1.00	926	746
佐賀県	済	済	済	274	274	253	1,161	1,375	0.84	36	29
長崎県	済	済	済	395	395	367	4,594	2,774	1.66	166	79
熊本県	済	済	済	420	420	1,430	3,721	3,339	1.11	236	200
大分県	済	済	済	355	355	700	1,572	1,828	0.86	46	58
宮崎県	済	済	済	246	246	250	1,282	1,001	1.28	45	60
鹿児島県	済	済	済	342	342	370	2,897	2,811	1.03	89	54
沖縄県	済	済	済	469	469	370	4,719	3,706	1.27	234	168
全国	-	-	-	27,515	28,271	26,679	350,698	314,999	1.11	22,066	18,553

※：受入確保病床数、受入確保想定病床数、宿泊施設確保数、厚生労働省「新型コロナウイルス感染症患者の療養状況等及び入院患者受入病床数等に関する調査」による。
 受入確保想定病床数は、同調査における「最終フェーズにおける即応病床（計画）数」を用いている。同調査では、記載日の翌日 00:00時点としてとらめられている。
 ※：受入確保病床数は、ピーク時に新型コロナウイルス感染症患者が利用する病床として、各都道府県が医療機関と調整を行い、確保している病床数。実際には受入れ患者の重症度等により、変動する可能性がある。
 ※：受入確保想定病床数は、ピーク時に新型コロナウイルス感染症患者が利用する病床として、各都道府県が見込んでいる（想定している）病床数であり変動しうる点に留意が必要。また、実際には受入れ患者の重症度等により、変動する可能性がある。
 ※：確保病床数が確保想定病床数を超える場合には、確保想定病床数は確保病床数と同数として計算している。
 ※：宿泊施設確保数は、受け入れが確実な宿泊施設の部屋として都道府県が判断し、厚生労働省に報告した室数。都道府県の運用によっては、事務職員や物資の保管、医師・看護師の控え室のために使用する居室等として、一部使われる場合がある。（居室数が具体的に確認できた場合、数値を置き換えることにより数値が増減する場合がある。）数値を非公表としている県又は調整中の県は「-」で表示。
 ※：PCR検査件数は、①各都道府県から報告があった地方衛生研究所・保健所のPCR検査件数（PCR検査の体制整備にかかると国の報告については（依頼）（令和2年3月5日））、②厚生労働省から依頼した民間検査会社、大学、医療機関のPCR検査件数を計上し、一部、未報告の検査数があるとして、現時点で推定されている検査件数計上している。
 ※：各数値は、資料掲載時点において把握している最新の値としている。掲載時以降に数値が更新されるとにより、前週の数値が前週公表の数値と一致しない場合がある。

都道府県の医療提供体制等の状況（医療提供体制・監視体制・感染の状況）

参考資料8

		【 医療提供体制 】				【監視体制】	【 感染の状況 】				
A	B	C		D		E	F	G	H	I	J
		①病床のひっ迫具合				②療養者数	③陽性者数／PCR検査件数（最近1週間）	④直近1週間の陽性者数	⑤直近1週間とその前1週間の比	⑥感染経路不明な者の割合	
人口		全入院者		重症患者							対人口10万人（前週差）
時点	2019.10	12/29	12/29	12/29	12/29	12/29	~12/27(1W)	~1/4(1W)	~12/25(1W)		
単位	千人	%（前週差）	%（前週差）	%（前週差）	%（前週差）	%（前週差）	%（前週差）	対人口10万人（前週差）	（前週差）	%（前週差）	
ステージⅢの指標		25%	20%	25%	20%	15	10%	15	1	50%	
ステージⅣの指標			50%		50%	25	10%	25	1	50%	
北海道	5,250	45.1% (▲6.0)	45.1% (▲6.0)	12.1% (▲4.9)	12.1% (▲4.9)	30.3 (▲3.0)	4.1% (▲1.2)	13.77 (▲0.5)	0.97 (+0.08)	28.2% (+7.0)	
青森県	1,246	16.2% (+7.6)	15.1% (+7.1)	6.5% (+0.0)	6.5% (+0.0)	5.1 (+3.0)	3.6% (+2.2)	6.26 (+2.5)	1.66 (▲1.28)	29.2% (+17.6)	
岩手県	1,227	15.0% (▲7.8)	15.0% (▲7.8)	5.1% (+0.0)	5.1% (+0.0)	5.5 (▲2.7)	2.1% (+0.6)	1.22 (▲2.3)	0.35 (▲1.08)	11.5% (+10.2)	
宮城県	2,306	26.4% (▲2.6)	20.2% (▲2.0)	7.0% (▲7.0)	4.6% (▲4.6)	18.7 (+3.6)	6.3% (+1.0)	7.42 (▲6.1)	0.55 (▲0.76)	46.3% (+12.3)	
秋田県	966	8.1% (+6.3)	7.7% (+6.0)	0.0% (+0.0)	0.0% (+0.0)	3.7 (+3.2)	3.8% (+3.4)	2.38 (▲0.8)	0.74 (▲30.26)	16.7% (▲8.3)	
山形県	1,078	36.1% (▲1.4)	36.1% (▲1.4)	23.1% (+0.0)	23.1% (+0.0)	7.9 (▲0.9)	2.8% (+0.3)	3.06 (▲1.1)	0.73 (▲0.03)	23.5% (+12.1)	
福島県	1,846	33.3% (▲1.5)	33.3% (▲1.5)	16.7% (+4.8)	14.0% (+4.0)	11.4 (+2.2)	2.4% (+0.1)	6.07 (▲1.6)	0.79 (▲0.29)	21.4% (▲4.1)	
茨城県	2,860	21.8% (+0.4)	21.8% (+0.4)	10.0% (▲4.1)	10.0% (▲4.1)	9.2 (+1.3)	2.4% (+0.2)	8.88 (+2.3)	1.34 (▲0.04)	38.1% (+14.1)	
栃木県	1,934	49.8% (+5.4)	49.8% (+5.4)	19.6% (▲9.7)	19.6% (▲9.7)	19.8 (+7.3)	6.1% (+1.4)	24.04 (+12.3)	2.05 (+0.62)	50.5% (+12.0)	
群馬県	1,942	55.2% (▲6.6)	55.2% (▲6.6)	14.1% (+0.0)	14.1% (+0.0)	16.1 (▲1.4)	5.6% (▲0.4)	13.18 (+0.7)	1.05 (+0.14)	37.8% (▲0.1)	
埼玉県	7,350	63.6% (+10.0)	55.9% (+8.8)	41.5% (+16.9)	27.0% (+11.0)	40.0 (+10.2)	6.5% (+0.8)	23.89 (+1.6)	1.07 (▲0.23)	39.4% (▲1.8)	
千葉県	6,259	42.4% (+8.9)	40.4% (+8.4)	17.0% (▲0.8)	8.9% (▲1.1)	30.3 (+8.9)	7.2% (+0.7)	23.77 (+4.2)	1.22 (▲0.13)	52.2% (+1.1)	
東京都	13,921	61.4% (+7.7)	61.4% (+7.7)	75.8% (+7.2)	75.8% (+7.2)	59.2 (+16.0)	6.8% (+0.3)	46.22 (+8.7)	1.23 (+0.02)	61.7% (+3.4)	
神奈川県	9,198	28.4% (+0.7)	28.4% (+0.7)	29.5% (+1.0)	29.5% (+1.0)	32.3 (+10.4)	9.5% (+2.8)	33.09 (+2.5)	1.08 (▲0.42)	56.7% (+5.0)	
新潟県	2,223	16.4% (+3.9)	16.4% (+3.9)	0.0% (+0.0)	0.0% (+0.0)	4.3 (+1.2)	3.8% (+1.3)	3.01 (+0.2)	1.08 (▲0.69)	14.5% (▲2.2)	
富山県	1,044	5.8% (+0.2)	5.8% (+0.2)	5.6% (+2.8)	5.6% (+2.8)	4.8 (+1.8)	2.9% (+1.5)	2.97 (▲1.3)	0.69 (▲0.86)	18.4% (▲29.0)	
石川県	1,138	39.1% (+7.4)	39.1% (+7.4)	20.0% (+20.0)	20.0% (+20.0)	9.2 (+1.7)	3.2% (+0.7)	6.94 (+0.5)	1.08 (▲0.35)	32.4% (+4.7)	
福井県	768	7.9% (+2.3)	7.9% (+2.3)	4.2% (▲4.2)	4.2% (▲4.2)	2.2 (+0.7)	0.8% (+0.0)	1.56 (+0.1)	1.09 (▲1.11)	0.0% (+0.0)	
山梨県	811	19.6% (+5.3)	19.6% (+5.3)	12.5% (+4.2)	12.5% (+4.2)	7.5 (+2.1)	2.7% (▲0.4)	8.38 (+2.3)	1.39 (▲0.05)	35.7% (▲5.0)	
長野県	2,049	26.0% (▲11.7)	26.0% (▲11.7)	6.3% (▲4.2)	6.3% (▲4.2)	6.0 (▲1.6)	2.6% (▲0.6)	6.39 (+2.5)	1.66 (+0.58)	23.6% (▲0.3)	
岐阜県	1,987	48.8% (+5.9)	48.8% (+5.9)	21.6% (+5.9)	21.6% (+5.9)	23.9 (+5.3)	7.3% (+1.1)	21.44 (+5.3)	1.33 (▲0.01)	37.1% (+7.9)	
静岡県	3,644	40.7% (+0.7)	40.0% (+0.7)	23.7% (+2.6)	13.4% (+1.5)	11.2 (▲2.4)	3.4% (+0.3)	6.61 (+1.2)	1.22 (+0.08)	27.4% (▲7.2)	
愛知県	7,552	63.5% (+8.0)	63.5% (+8.0)	37.9% (+0.0)	32.2% (+0.0)	31.2 (+2.6)	9.0% (▲1.0)	19.28 (▲1.5)	0.93 (▲0.19)	43.2% (+1.9)	

都道府県の医療提供体制等の状況（医療提供体制・監視体制・感染の状況）

参考資料8

		【 医療提供体制 】				【監視体制】		【 感染の状況 】				
A	B	C		D		E	F	G		H	I	J
人口	①病床のひっ迫具合						②療養者数	③陽性者数／PCR検査件数 (最近1週間)	④直近1週間の陽性者数 対人口10万人 (前週差)	⑤直近1週間 とその前1週間の比 (前週差)	⑥感染経路 不明な者の 割合	
	全入院者		重症患者									
時点	2019.10	12/29	12/29	12/29	12/29	12/29	12/29	~12/27(1W)	~1/4(1W)	対人口10万人 (前週差)		~12/25(1W)
単位	千人	% (前週差)	% (前週差)	% (前週差)	% (前週差)	% (前週差)	% (前週差)	% (前週差)	% (前週差)			% (前週差)
ステージⅢの指標		25%	20%	25%	20%	15	10%	15	1	50%		
ステージⅣの指標			50%		50%	25	10%	25	1	50%		
三重県	1,781	41.5% (+5.4)	41.5% (+5.4)	7.5% (+0.0)	7.5% (+0.0)	8.3 (+0.6)	10.1% (▲0.5)	5.73 (+0.9)	1.19 (+0.10)	22.4% (+4.3)		
滋賀県	1,414	52.6% (+30.7)	51.4% (+30.0)	15.9% (+9.1)	11.3% (+6.5)	15.8 (+8.6)	8.2% (+3.1)	13.86 (+2.8)	1.25 (▲0.84)	28.2% (▲11.0)		
京都府	2,583	36.8% (+2.1)	35.3% (+3.9)	32.6% (+1.2)	32.6% (+1.2)	39.8 (+11.3)	7.4% (▲0.2)	24.78 (▲1.7)	0.93 (▲0.38)	41.6% (▲3.0)		
大阪府	8,809	66.0% (▲0.9)	64.4% (+0.6)	65.2% (+0.8)	65.2% (+0.8)	38.0 (▲3.2)	6.7% (▲1.2)	22.49 (+1.4)	1.07 (+0.18)	51.6% (+5.7)		
兵庫県	5,466	67.3% (+5.4)	67.3% (+5.4)	37.9% (+2.6)	36.7% (+2.5)	21.3 (+4.8)	11.2% (+2.0)	18.70 (▲3.1)	0.86 (▲0.55)	49.4% (▲2.7)		
奈良県	1,330	67.0% (+21.6)	49.6% (+7.2)	50.0% (+9.3)	50.0% (+9.3)	25.6 (+4.6)	5.4% (▲0.3)	16.24 (▲0.5)	0.97 (▲0.34)	45.3% (+10.0)		
和歌山県	925	6.8% (▲1.8)	6.8% (▲1.8)	5.0% (+2.5)	5.0% (+2.5)	2.9 (▲0.8)	1.6% (▲0.4)	6.81 (+5.1)	3.94 (+3.30)	35.0% (+8.9)		
鳥取県	556	13.7% (+10.9)	13.7% (+10.9)	0.0% (+0.0)	0.0% (+0.0)	7.7 (+6.1)	4.0% (+3.5)	5.04 (▲0.5)	0.90 (▲14.60)	16.7% (▲83.3)		
島根県	674	12.6% (+4.0)	12.6% (+4.0)	8.0% (+4.0)	8.0% (+4.0)	4.7 (+1.5)	7.6% (+5.0)	1.48 (▲2.1)	0.42 (▲1.43)	26.7% (+12.4)		
岡山県	1,890	33.2% (▲5.7)	33.2% (▲5.7)	21.6% (+0.0)	20.0% (+0.0)	15.4 (▲4.9)	3.3% (▲1.1)	9.95 (+0.7)	1.08 (+0.51)	19.6% (▲15.9)		
広島県	2,804	55.2% (+8.5)	55.2% (+8.5)	26.4% (+4.2)	26.4% (+4.2)	50.0 (+10.3)	4.6% (▲0.2)	18.79 (▲5.5)	0.77 (▲0.27)	44.2% (▲3.8)		
山口県	1,358	22.7% (+9.7)	22.7% (+9.7)	2.2% (+0.0)	2.2% (+0.0)	8.5 (+4.3)	4.4% (+2.0)	5.30 (+0.2)	1.04 (▲1.18)	34.5% (+10.5)		
徳島県	728	2.5% (▲0.5)	2.5% (▲0.5)	0.0% (+0.0)	0.0% (+0.0)	0.7 (▲0.1)	0.7% (▲0.7)	0.82 (+0.4)	2.00 (+1.40)	0.0% (+0.0)		
香川県	956	18.6% (+8.0)	18.6% (+8.0)	0.0% (+0.0)	0.0% (+0.0)	9.9 (+5.5)	3.4% (+2.6)	2.82 (▲5.4)	0.34 (▲8.44)	11.9% (▲4.7)		
愛媛県	1,339	17.9% (+6.6)	17.9% (+6.6)	9.1% (▲3.0)	9.1% (▲3.0)	6.4 (+3.9)	7.9% (+2.1)	4.63 (+0.4)	1.11 (▲2.63)	33.3% (+2.1)		
高知県	698	43.0% (▲16.5)	43.0% (▲16.5)	15.5% (+8.6)	15.5% (+8.6)	22.6 (▲7.0)	9.6% (+1.3)	7.88 (▲8.7)	0.47 (▲0.30)	30.9% (▲12.2)		
福岡県	5,104	60.9% (+17.9)	46.2% (+15.0)	15.2% (+3.7)	14.5% (+3.6)	26.6 (+6.6)	6.3% (+1.2)	20.47 (+1.4)	1.07 (▲0.18)	47.9% (+9.8)		
佐賀県	815	7.7% (+0.0)	7.7% (+0.0)	0.0% (+0.0)	0.0% (+0.0)	6.0 (+1.0)	3.1% (+1.0)	6.13 (+1.3)	1.28 (▲0.16)	26.5% (+11.8)		
長崎県	1,327	34.7% (+18.7)	34.7% (+18.7)	18.5% (+11.1)	11.9% (+7.1)	21.1 (+9.1)	3.6% (+0.8)	13.04 (+0.6)	1.05 (▲0.76)	34.4% (+14.1)		
熊本県	1,748	42.6% (+5.5)	42.6% (+5.5)	11.9% (+5.1)	11.9% (+5.1)	19.6 (+6.3)	6.3% (+0.4)	13.90 (▲0.9)	0.94 (▲0.46)	16.9% (▲3.7)		
大分県	1,135	17.2% (+1.7)	17.2% (+1.7)	7.3% (▲2.4)	7.3% (▲2.4)	7.8 (+1.0)	2.9% (▲0.2)	8.02 (+2.5)	1.44 (+0.28)	34.1% (+9.5)		
宮崎県	1,073	11.4% (▲0.8)	11.4% (▲0.8)	0.0% (▲3.0)	0.0% (▲3.0)	7.1 (+0.5)	3.5% (▲2.5)	14.17 (+9.0)	2.76 (+1.80)	10.2% (▲1.7)		
鹿児島県	1,602	19.3% (+6.7)	19.3% (+6.7)	5.3% (+5.3)	4.2% (+4.2)	7.4 (+3.2)	3.1% (+1.2)	5.43 (▲1.1)	0.84 (▲1.53)	34.4% (+12.2)		
沖縄県	1,453	32.6% (+2.3)	32.6% (+2.3)	37.7% (+9.4)	37.7% (+9.4)	22.5 (+3.7)	5.0% (+0.4)	18.44 (+2.3)	1.15 (▲0.40)	45.8% (+4.2)		
全国	126,167	42.1% (+4.1)	41.0% (+3.9)	30.6% (+2.5)	28.3% (+2.3)	27.2 (+5.1)	6.3% (+0.4)	19.55 (+1.6)	1.09 (▲0.13)	47.9% (+3.2)		

※：人口推計 第4表 都道府県，男女別人口及び人口性比－総人口，日本人人口（2019年10月1日現在）

※：確保病床利用率、確保想定病床利用率、療養者数は、厚生労働省「新型コロナウイルス感染症患者の療養状況等及び入院患者受入病床数等に関する調査」による。

確保想定病床利用率は、同調査における「最終フェーズにおける即応病床（計画）数」を用いて計算している。同調査では、記載日の翌日 00:00時点としてとりまとめている。

※：重症者数は、集中治療室（ICU）等での管理、人工呼吸器管理又は体外式心肺補助（ECMO）による管理が必要な患者数。

※：東京都、滋賀県、京都府、福岡県及び沖縄県の重症者数については、これまで都府県独自の基準に則って報告された数値を掲載していたが、

8/21公表分からは、国の基準に則って、集中治療室（ICU）等での管理が必要な患者も含めた数値が報告されている。

※：確保病床数が確保想定病床数を超える場合には、確保想定病床数は確保病床数と同数として計算している。

※：人口推計 第4表 都道府県，男女別人口及び人口性比－総人口，日本人人口（2019年10月1日現在）

※：陽性者数は、感染症法に基づき陽性者数の累積（各都道府県の発表日ベース）を記載。自治体に確認を得ていない暫定値であることに留意。

※：PCR検査件数は、厚生労働省において把握した、地方衛生研究所・保健所、民間検査会社、大学等及び医療機関における検査件数の合計値。

※：各数値は、資料掲載時点において把握している最新の値としている。掲載時以降に数値が更新されることにより、前週差が前週公表の値との差と一致しない場合がある。

※：⑤と⑥について、分母が0の場合は、「-」と記載している。

※：2020年12月18日以降に新たに厚生労働省が公表している岡山県のアンリンク割合については、

木曜日から水曜日までの新規感染者について翌週に報告されたものであり、他の都道府県と対象の期間が異なる点に留意。